ボランティア便り

第1号（年3回発行予定）

《定期総会と懇親会》

2026年5月15日 金曜日 久留米市ボランティア連絡協議会の定期総会が開催されました。終了後、初の試みとして懇親会が実施され、会員間での交流が行われました。

現在の会員総数62団体(過半数32)で、委任状20と出席団体27の合計47団体にて、今回の総会は成立しました。

浦川豊彦会長のあいさつ、重石 悟社協常務理事の来賓あいさつを経て、議長に藤野 薫さんを選出し、直ちに議事に入りました。

事業報告では、行事の羅列だけでは具体性に欠けるので、今年は写真スライドショーで前年度の総会からワークショップ・バス研修旅行・ふくおか絆フェスティバル・ボランティアフェスティバルまでを振り返りました。

決算報告では、赤い羽根募金の減少で昨年度から、社協からの補助金が30万円から20万円に減額された結果、役員の費用弁済・全国フォーラム参加費などの削減で、何とか予算額内に収まったことが報告されました。

事業計画案では、昨年度に引き続きワークショップとバス研修旅行を実施し、公式LINEを始めることが提案されました。

予算案では、昨年度とほぼ同様の予算が提案されました。

提案された全ての議案は、参加者全員によって承認され、1時間弱で終了しました。

なお、2年任期の役員改選は、今年度はなく来年度に実施されます。

総会終了後、北野ハーモニカクラブによる演奏のあと4グループに分かれて、フードバンクくるめが提供した飲物とお菓子をつまみながら、約30分間会員交流を深めました。







《第1回交流学習会　会員紹介＋ワークショップ》

2026年8月28日（金曜日）学習交流会として社協から熊本地震の災害支援活動報告と3団体紹介、その後ワークショップが開催されました。参加会員26名が5班に分かれました。

浦川会長のあいさつの後、川上幸男社協課長補佐より7月28日に発生した熊本地震支援の災害ボランティア派遣活動に関する報告がありました。8月現在、週3度 毎回15名程度を宇城市に社協のバスで派遣しており、主にがれきの撤去作業に従事しています。

休憩の後、3団体の紹介がありました。

・北野手話の会は活動歴35年で幅広い層のメンバーを有し、定期的な会合で、各人のスキルアップを図っています。

・新規加入のダンデライオン不登校ひきこもりを考える会 代表・内山さんと副代表・大谷さんにより、難しい社会課題を報告されました。会は2019年に発足し、第4日曜日に座談会・茶話会を開き、悩みを相談し合っています。

・これも新規加入の歌ごえデリバリーで、10名の会員でサロンを中心に月2～3回程出向いて1～1.5時間の歌を披露しています。皆で「南国土佐を後にして」他を唱和しました。


川上社協課長補佐


定期総会終了後の懇親会（飲物・お菓子付）



大谷さんと内山さん



竹内さん

【A班】

参加者の1人がボラ活動に行く途中で事故に遭ったという話から保険の話しになり車両は自身で対応する事になってるという事から、高齢になって来てるから同乗させられない。しかし免許を持ってる人も高齢になって来てるから要請があった時に行ける体制も取れないし、ニーズに応えられないジレンマを抱えてる。若い人が入ってこないという現実。確かな答えが出ないまま終わった。

【B班】

テーマが「ボランティア活動のこれから」はちょっと？わかりづらい、課題が大きすぎる、などでとまどいましたが皆さん、明るくて、元気な方ばかりで初めてお会いしたとは思えないくらい活発に盛り上がりました。

一つのサークルではなく他のサークルとコラボすることで、厚みも増し利用してもらう方々に喜んでもらえるんじゃないかと。その為にはお互いの持ち味をみなさんにアピールしないといけない。どんなやり方でPRしたらよいか！などいろいろ課題が上がりました。

【C班】

C班の課題は、会員確保「広報方法等」、会員の高齢化、資金確保等が共通の課題でした。但し、防災士会では、会員が毎年増加しますが、年齢制限をどのようにするか、と個人のスキルアップ研修が課題です。参加団体をくーみんテレビで紹介することになりました。

【D班】

○年齢が高齢化（80歳代70歳代→車がないと活動不可。○新しい会員が、入会して来ないイベントをしても、解散の話が、必ず出てくる。○活動継続の難しい理由（介護・病気・年齢の申し出が増えてきた。○現状打破は、難しいとの結論となった。

【E班】

まず、自己紹介を致しました。とっても聡明な方や、会場迄、約30分間歩行での参加の方。途中で帰られた方もおられました。地域ボランティアに参加する人は、年齢層によって考え方が違うと思われます。ボランティア活動するには、メンバーが高齢化して、最近では60代～70代の人でも集まらない。人との繋がりやコミュニケーション・居場所づくりが重要である事等、十分に若い世代の方も理解されているのですが、どうしてもボランティアに一歩が踏み出せない理由。その一歩を踏み出す為には、どうしたら…具体的な意見、結論を出せませんでした。













【感想と希望するテーマ】

・他のボランティア団体の活動や話が聞けて、参考になりました。
・発表の機会をいただきまして、ありがとうございました。知らなかった団体の活動を聞けて良かった。参加者がもう少し多いともっといろいろ知る事ができたかなぁ。
・熊本地震の話はメディアである程度知ってはいましたが、この類のこともフェイク画像があることを聞き、衝撃でした。北野手話の会の紹介の際、"はじめまして"の意味合いがあると思うので「ろう協」など省略せず正式な呼称がスムーズに聞き入れると感じました。ダンデライオンさん、久留米に存在してくれて「ありがとう」の気持ちで一杯になりました。
・いろいろな団体の悩み事が、どこも同じという事が分かりました。高齢化・資金調達・メンバー不足。。。若い方はSNSですぐ調べて動けますが、、。同じ立場の方と話し合える機会はあまりないので、勉強になりました。ありがとうございました。
・北野手話の会の話を聞いて、前から興味を持っていたので勉強したいと思いました。熊本から転入して、久留米の事余り知らないので、いろんな事に参加したいと思っています。この会に参加させて頂いて、初対面の人達と笑顔で話が出来とても心がなごみました。
・新しいボランティアを知ることが出来た。それぞれの団体で活動されている一端を聞くことができた。会員の高齢化や周囲へ広く広報していくことの難しさがある。
・みなさんと知り合えて良かったです。楽しかったです。もっとみんなで話せる時間を作ってほしい。
・熊本の災害支援のこと、断片的にしか知らなかったので、久留米市からどのような支援に行っているかが分かって良かった。発表では皆興味をもって聞いて下さり、ありがとうございました。楽しい時間でした。
・各団体(他の5団体)の困り事は同様だった。高齢化によるスタッフ不足・車の確保が難しい・行動力の低下は、対応答が難しい。今日の参加の方は、ボラ活動一生懸命だが、後継者が育っていない状況。〈希望するテーマ〉高齢者は、もっとデジタル・スキルを活用しようというテーマです。スマホ、iPad、AI等の活用による生活の質の維持・人間関係の構築など。
・団体紹介発表、詳しく聞けて良かったです。
・団体の紹介の時にワークショップは必要ないのかな?
・(3団体紹介)とても良かった。初めてお会いした方と同グループになり視野が広がった。おかし、お茶、おいしかった!
・初めて参加して勉強になりました。
・有意義であった。
・他の団体の活動内容をしることが出来て、良かったです。交流できて、楽しかったです。
・短時間の話し合いでしたが、中身の濃い時間でした。
・他団体さんとの交流が出来て、いろいろな話が聞けてよかった。
・他団体の話が聞けて、参考になりました。
・各自の活動がとても大切だと、教えてもらいました。今後、コラボできる団体さんをみつけたいです。
・前回と違った問題が出たのは良かった。車の免許の問題、高齢化しているので足をどうするか?新しい団体さんの活動が聞かれて良かった。〈希望するテーマ〉今回のように新しい団体の活動報告が聞けたらいいかな?

☆ボラ連 連絡網として
公式LINE始めました。
どなたでも参加できます。
下のQRコードから
友だち追加して下さい。

LINE

バス研修旅行

日時：11月6日(金) 午前9時半から16時
場所：みやき町ボラ連、大刀洗平和記念館